

## 4 施 工

**Q-40** フラットデッキを使い床スラブに開口を設ける場合に、フラットデッキの施工に対して、どのような点に注意をしたらよいか？

**A**

床スラブに開口を設ける場合の施工方法としては、コンクリート硬化後にフラットデッキを切断して孔あけする場合、もしくはコンクリート打設前に孔あけする場合が考えられます。

コンクリート打設時のフラットデッキの強度計算はデッキリブの断面性能で検討されます。

したがって、リブ部分が欠損されると強度が減少しますので、フラットデッキに補強をする必要があります。

1. コンクリート硬化後にフラットデッキを切断し、孔あけ（箱抜き）する場合には、あらかじめ型枠を組んで箱抜きする工法を原則とし、切断端部周辺にあらかじめ落下防止金物を取り付けます。

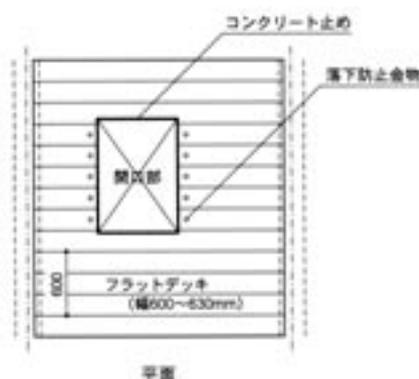


図 - 1 コンクリート硬化後にフラットデッキを切断する場合

2. コンクリート打設前にフラットデッキを切断し、孔あけする場合は、開口が幅 150mm を超え、奥行も 150 mm を超える場合に、欠損断面に応じてフラットデッキをプレートまたは山形鋼等で補強することが必要です。

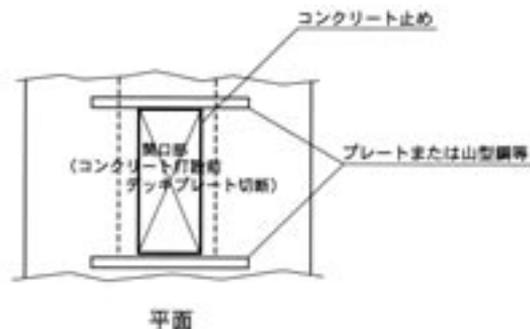


図 - 2 コンクリート打設前にフラットデッキを切断する場合

尚、詳細については「フラット指針」の「5章 5.1 施工計画 c. 工事詳細計画(4) 開口部」に記載されておりますので御参照してください。